

### <設備・機器の修理や新設>

部門 website に機器一覧，機器オンライン予約，お知らせ，申請書類ファイル，セミナー記録，技術講習会活動記録，ニュース，会議・講習会参加記などが掲載されています。最新情報は随時更新しています。ぜひご覧ください。 <http://shimane-u.org/index.htm>

機器のオンライン予約を行うためには，利用代表者のユーザーID およびパスワードが必要です。遺伝子機能解析部門事務までお問い合わせください。新たに予約オンライン化を希望される機器がございましたらご連絡ください。

中国地方バイオネットワーク受託サービスが行われています。中国5県の遺伝子関連施設が実施している受託サービスを利用することができます。詳しくは，中国地方バイオネットワーク連絡会議のHP ([http://gene.yamaguchi-u.ac.jp/Chugoku\\_BNW\\_HP/index3.html](http://gene.yamaguchi-u.ac.jp/Chugoku_BNW_HP/index3.html)) をご覧下さい。本遺伝子機能解析部門は共焦点レーザー顕微鏡観察受託サービスを担当しています。

ドライ真空ポンプ NeoDry 15E-C (312 室) が導入されました (凍結乾燥機に装備)。

### <行事>

機器談話会を開催しました。

令和3年7月30日(金) 「2021年度 第1回 遺伝子機能解析部門機器談話会」

令和3年12月28日(火) 「2021年度 第2回 遺伝子機能解析部門機器談話会」

利用説明会を開催しました。

令和3年10月27日(水) 「2021年度 遺伝子機能解析部門利用者説明会 (第4回)」

教育訓練を開催しました。

令和3年6月3日(木)～6月18日(金) 「放射線業務従事者再教育訓練 (e-learning)」

令和3年6月3日(木)～6月7日(月) 「放射線業務従事者新規登録者教育訓練 (Moodle)」

令和3年10月29日(金)～11月26日(金) 「放射線業務従事者新規登録者教育訓練 (Moodle)」

### <公開講演会開催>

令和3年11月19日(金)

島根大学総合科学研究支援センター公開講演会

(第256回 遺伝子機能解析部門セミナー、第379回 細胞工学研究会)

「日本の養液栽培・・・その可能性と課題」

浅尾俊樹 (島根大学学術研究院農生命科学系)

### <技術講習会開催>

第161回 令和3年6月3日(木)

「デジタルマイクロスコープ説明会」(オンライン)

第162回 令和3年10月22日(金)

「4K マイクロスコープ (VHX-8000) とレーザー元素分析ヘッド (EA-300) 説明会」(オンライン)

第163回 令和3年11月29日(月)

「凍結乾燥機 (ドライ真空ポンプに更新) 説明会」

第164回 令和3年12月1日(水)

「共焦点レーザー蛍光顕微鏡(TCS SP5)操作説明会14」

第165回 令和3年12月8日(水)

「オールインワン蛍光顕微鏡(BZ-X700)操作説明会10」

### <セミナー開催>

第255回 令和3年11月5日(金)

(第378回 細胞工学研究会)

演題1: 植物ホルモン・サイトカニンによる植物成長制御  
～長距離輸送と側鎖修飾の仕組みと役割～

木羽隆敏 氏 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

演題2: 植物の器官間シグナル伝達を介した鉄吸収制御

田畑 亮 氏 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

第256回 令和3年11月19日(金)

(第379回 細胞工学研究会、総合科学研究支援センター公開講演会)

「日本の養液栽培・・・その可能性と課題」

浅尾俊樹 (島根大学学術研究院農生命科学系)

### <会議等報告>

令和3年度 大学等における放射線安全研修会および協議会総会 (R3.9.10) オンライン

令和2年度と同様に本年度(令和3年度)もオンラインで開催されました。簡単な報告をします。

#### <大学等放射線施設協議会 令和3年度総会>

会長挨拶、理事会役員紹介の後、令和2年度事業報告、令和2年度会計報告が行われ、引き続き協議事項に移りました。次期役員、令和3年度事業計画案、令和3年度予算案、細則の変更案が協議され、いずれも承認されました。

#### <令和3年度 大学等における放射線安全研修会> プログラム

- ・「放射線測定器の点検と校正」  
大学等放射線施設協議会顧問 中村尚司
- ・「学内従事者情報に関する管理体制についてアンケートのまとめ」  
大学等放射線施設協議会会長 渡部浩司
- ・「放射線規制に対する疑問点・非合理的な事例収集ご協力お願いします」  
大学等放射線施設協議会会長 渡部浩司
- ・「大学等放射線施設協議会 活動報告」
- ・「閉会の辞」

大学等放射線施設協議会会長 渡部浩司

「放射線測定器の点検と校正」では、今後法律に改正予定の「放射線測定機器については、点検及び校正を1年毎に適切に組み合わせて行うこと」について、様々な測定器の例が取り

あげられ説明が行われました。質問・回答など知りたい方は中川までお問い合わせください。

「学内従事者情報に関する管理体制についてアンケートのまとめ」では、管理部署、管理方法、全学一元管理が行われているか、などの調査が行われました。事業所（事業場）単位が多く、全学一元も3割程度で行われていること、紙ベースの管理が多く、それに伴い事務負担が大きいこと、（他機関や事業所間で）管理項目や様式が異なることでやりとりに手間がかかることがある、などが紹介されました。アンケート結果の詳細と分析が後日公開される予定です。「放射線規制に対する疑問点・非合理的な事例収集ご協力のお願い」では、放射線施設として原子力規制庁に要望したいことを募ることが案内されました。後日アンケートの依頼が行われる予定です。

（中川）

---

### 第37回全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会総会（R3.11.19）オンライン

標記総会と安全研修会に参加しました。今回は当番校沖縄科学技術大学院大学によるオンラインで開催されました。資料は中川が保管しています。ご覧になりたい方は中川までお知らせ下さい。

9:30～12:00 総会

13:00～16:00 安全研修会

「遺伝子組換え生物と病原体の総合的な安全管理を目指して」

#### <第37回 全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会 総会>

##### 1) 新規会員等の参加承認

正会員：独立行政法人 酒類総合研究所

十文字学園女子大学

企業会員：日本新薬株式会社

暫定会員：酪農学園大学

一般社団法人バイオロジクス研究トレーニングセンター

##### 2) 文部科学省施策説明

###### (1) カルタヘナ法について

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室専門職

田崎 美央

表の改正について、「科学的知見により」という文言追加画行われているが、論文や過去の実績に基づいて共通認識ができているものとの説明があった。

ゲノム編集について、核酸移入のあるなし、核酸残存のあるなし、で適切な対応を行うことが説明された。核酸移入なしや核酸残存なしの場合は事前打ち合わせの後に主務官庁に届出連絡し、情報提供を行うことが説明された。

その他、組換え DNA や関連実験について不明な点や判断に迷う点があれば文部科学省ライフサイエンス課に問い合わせをしていただくのが望ましいと思われる。

###### (2) 学術研究に関する政策の動向について

文部科学省研究振興局大学基盤整備課 研究設備係長・研究支援係長

中村 卓

大学研究力強化委員会設置が報告され、大学ファンド、地域の中核となる大学の機能強化、若手研究者の活躍促進について説明が行われた。

### 3) 事業報告

#### (1)クラウド方会員管理・会計管理システムの導入

古関 直子（東京農工大学 事務局）

#### (2)第13回 遺伝子組換え実験安全研修会

西内 巧（金沢大学 副代表幹事）

遺伝子機能解析部門ウェブサイトの「参加記」で報告しました。

### 4) 委員会等報告

#### (1) 幹事会

#### (2) 広報委員会

#### (3) 組換え生物等委員会

#### (4) 教育教材ワーキンググループ

「遺伝子組換え生物等の使用等に関する問題集」公開、英語版動画の公開予定（令和4年度公開予定）が報告された。

#### (5) Gene Drive ワーキンググループ

#### (6) 続・ゲノム編集ワーキンググループ

#### (7) 組換えカビ・キノコ・コケ等の拡散防止措置ワーキンググループ

#### (8) 実施計画書書式・審査検討ワーキンググループ

#### (9) 将来構想ワーキンググループ

会の名称変更、会則変更などを議論し提案

### 5) 会則の変更について

遺伝子組換え実験安全管理に重点を置く会へとシフトするため、会の名称、会員種別、役員、総会の形態を変更することが提案され承認された。

名称は「遺伝子研究安全管理協議会」、略称「遺伝子協」、英語名称「Association for Promotion of Genetic Studies in Japan (APGS)」となった。2022年4月1日より発足。

### 6) 委員会について

新しい「遺伝子協」では、以下の委員会と新たに分科会を置くことになった。

#### 委員会

- ・組換え生物等委員会 各種組換え生物部会（細菌部会、ウイルス部会、菌類部会、動物部会、植物部会、第一種使用部会）を設置
- ・審査手続き等件等委員会
- ・教育教材開発委員会
- ・将来構想委員会

#### 分科会

- ・共同利用機器分科会

- 7) 決算報告
- 8) 事業計画、予算案
- 9) 中間報告の廃止（中間決算報告の廃止）
- 10) その他の議事

次回の総会と安全研修会は、は2022年11月18日（金）に千里ライフサイエンスセンターで開催の予定です。

#### <安全研修会>

遺伝子組換え生物と病原体の総合的な安全管理を目指して

- ・「感染症法について」  
前川 秀彰（BMSA）
- ・「実験室バイオセーフティ：バイオリスクマネジメント」  
杉山 和良（国立感染症研究所名誉所員）
- ・「生物学用安全キャビネットの構造・機能」  
小野 恵一（株式会社日立産機システム）
- ・「遺伝子組換えキノコ類の拡散防止措置」  
鈴木 智大（宇都宮大学）
- ・「遺伝子組換え実験の管理と委員会運営について」  
西内 巧（金沢大学）
- ・「OISTにおけるバイオセーフティへの取り組み」  
田中俊憲（OIST）  
（中川）

#### <その他>

令和3年12月22日

遺伝子機能解析部門で開発され理研バイオリソース研究センター実験植物開発室に寄託されていた植物バクターが理研BRC Exp-Plantカタログで公開されました。

[https://epd.brc.riken.jp/ja/resource/catalog\\_plantm](https://epd.brc.riken.jp/ja/resource/catalog_plantm)